

平成30年度

下関短期大学付属高等学校

学校評価



# 学 校 評 価 報 告 書

## 【 目 次 】

- I 本校における学校評価
- II 調査方法及び集計結果
- III 評価・アンケート等まとめ
- IV 報 告

### I 本校における学校評価

#### 1、本校の概要

【創 立】故 河野タカ、大正15年(1926年)河野高等技芸院創立

【建学の精神】

「良妻賢母」

社会生活の基盤は、血縁の家であり、その家の中心は、妻であり母である。即ち、誇り高き真の日本女性が、家庭教育の中核であり、このような家庭集団こそが、現在及び将来に向かって限りない繁栄をもたらすものである。

学 科:普通科 暮らしデザイン科(3年)・調理科(1・2年)

生徒数:184名[平成30年5月1日現在] 176名(休学2名)[平成31年3月1日現在]

住 所:下関市桜山町1番1号

#### 2、教育目標

【校 訓】

正「自覚・感謝・温雅」

【校訓の誓い】

私たちは 真理を求め正義を愛し 日々自覚を持って励みましよう

私たちは 天地万物の恵に感謝し 温雅な婦徳を身につけましよう

【努力点】

- ① 心身ともに生徒のよりどころとなる 新しい感覚による教育環境の樹立
- ② 心のふれあう 心をたがやす 個性ゆたかな親和感による生徒指導の深化
- ③ 学習意欲をかきたて 一人ひとりを活かす学習指導の創意工夫

【日本一の学校づくり】

本年度目標:日本一「笑顔のある」学校、安心安全な学校

#### 3、学校評価の意義

学校評価は、学校運営の改善を目的とする。具体的には次のとおりである。

- ①学校教育目標、具体的方策の立案、自己点検、自己評価等を通して、一人ひとりの果たすべき役割が明確化され、組織的な教育活動を充実強化する。
- ②一人ひとりが持てる力を最大限に発揮し、能力開発をすることによって、様々な教育課題に一層効果的に取り組む。
- ③評価結果の公表を通して情報発信することによって、学校への信頼が高まるとともに、保護者や地域との連携を深める。

#### 4、学校評価

①自己評価 平成31年2月

教頭(1) 教諭(16) 養護教諭(1)

計19名

②生活アンケート 平成31年2月

ア、生 徒 1年(56) 2年(61) 3年(57)

計174名

イ、保護者 1年(55) 2年(61) 3年(57)

計172名

#### 5、授業評価

生徒対象に7月・1月の2回実施

### II 調査方法及び集計結果

調査方法は、授業評価以外の内部評価・外部評価ともにアンケートによる無記名個人回答調査で行った。アンケートの項目、回答数は次のとおりである。

学校自己評価とは、教職員が、学校の教育目標とそれに基づく教育活動その他の学校運営の状況について自ら評価し、その結果を公表するとともに改善に生かす活動です。学校自己評価の趣旨や内容を理解して頂き、アンケートにご協力下さい。

A:良く取り組んでいる、B:だいたい取り組んでいる、C:あまり取り組めていない、D:まったく取り組めていない

		評価項目		A	B	C	D
学校運営	開かれた学校づくり	1	学校情報の発信、公開を充実させることができたか。	5	12	1	1
		2	保護者や中学校等への広報活動の取組を組織化し、教職員の意識を向上させることができたか。	4	9	5	0
		3	配布物や保護者会を利用し、生徒の情報を家庭と共有することができたか。	2	11	5	1
		4	開かれた学校づくりのための計画立案、実行が適切に行えたか。	1	10	5	2
	学校全般	5	学校目標を理解して教育活動を進めているか。	0	15	4	0
		6	教育活動全般について協働体制を確立することができたか。	0	11	8	0
		7	適切な職場風土が形成されていると感じることができたか。	0	7	12	0
		8	学校の問題は明確にされ、教師間で共有することができたか。	0	7	12	0
		9	年間の具体的な行動目標を適切に設定することができたか。	0	11	7	0
	生徒指導	10	基本的な生活習慣を確立する指導に取り組むことができたか。	0	15	4	0
		11	生徒が充実した学校生活をおくるよう指導できたか。	0	15	4	0
		12	通学の安全を確保する指導を進めることができたか。	3	9	6	1
		13	部活動や行事に積極的に取り組ませることができたか。	2	13	4	0
		14	HR活動や生徒会活動の活性化を図ることができたか。	3	10	5	1
		15	それぞれの立場で生徒理解を深める努力ができたか。	1	18	0	0
	進路指導	16	組織的な進路指導體制を確立させることができたか。	1	15	3	0
		17	生徒個々に応じた進路指導を充実することができたか。	1	14	4	0
		18	三者面談、ガイダンスなどを進路指導の有効な手だてとすることができたか。	1	16	2	0
		19	3年間を見通した進路指導を計画することができたか。	2	11	5	0
	教職員の 資質向上	20	授業改善のために研究授業や教科会を適切に実施することができたか。	2	9	7	1
		21	進路指導力向上のために研修会を開き、情報を共有することができたか。	1	8	8	1
		22	生徒指導力向上のため、方針の明確化と一貫した指導をすることができたか。	2	10	7	0
		23	組織としての指導力(進路指導・生徒指導・教科指導)の向上を図ることができたか。	1	7	10	1
	防災安全	24	校内の諸活動において事故防止の観点を念頭に置いて取り組むことができたか。	2	12	5	0
		25	防災教育・安全教育を適切に実施することができたか。	1	13	5	0
教育課程	自ら学び 考える力 の育成	26	生徒が自ら進んで取り組むよう工夫した授業ができたか。	1	11	7	0
		27	生徒を伸ばす効果のある学校づくりが進められたか。	0	12	7	0
		28	教育課程の編成は組織的に適切に行われたか。	1	12	5	1
	基礎基本 の定着	29	生徒の特性に応じた学習課題や学習形態を設定できたか。	1	12	6	0
		30	言語活動の充実を意識した授業を進めることができたか。	0	11	8	0
		31	自ら学習する習慣を形成し、その習慣化を図る指導ができたか。	0	11	7	1
	総合的な学 習の時間	32	総合的な学習の時間は適切に計画され実施されたか。	2	8	7	1
	特色化	33	学校設定教科・科目は学校の個性や特色を伸ばす役割を果たしたか。	1	13	3	2
	その他	人権教育 道徳教育	34	人権教育は適切に計画され実施されたか。	4	13	1
35			人間としての在り方生き方の自覚を促し豊かな心や道徳性を持った生徒を育てる取組がされたか。	0	13	6	0
36			道徳教育を意識した授業を進めることができたか。	2	10	6	1
教育相談		37	教育相談活動が適切に計画され実施されたか。	1	17	0	1

学校自己評価とは、教職員が、学校の教育目標とそれに基づく教育活動その他の学校運営の状況について自ら評価し、その結果を公表するとともに改善に生かす活動です。学校自己評価の趣旨や内容を理解して頂き、アンケートにご協力下さい。

A: 良く取り組んでいる、B: だいたい取り組んでいる、C: あまり取り組めていない、D: まったく取り組めていない

		評価項目		A	B	C	D
学校運営	開かれた学校づくり	1	学校情報の発信、公開を充実させることができたか。	26%	63%	5%	5%
		2	保護者や中学校等への広報活動の取組を組織化し、教職員の意識を向上させることができたか。	22%	50%	28%	0%
		3	配布物や保護者会を利用し、生徒の情報を家庭と共有することができたか。	11%	58%	26%	5%
		4	開かれた学校づくりのための計画立案、実行が適切に行えたか。	6%	56%	28%	11%
	学校全般	5	学校目標を理解して教育活動を進めているか。	0%	79%	21%	0%
		6	教育活動全般について協働体制を確立することができたか。	0%	58%	42%	0%
		7	適切な職場風土が形成されていると感じることができたか。	0%	37%	63%	0%
		8	学校の問題は明確にされ、教師間で共有することができたか。	0%	37%	63%	0%
		9	年間の具体的な行動目標を適切に設定することができたか。	0%	61%	39%	0%
	生徒指導	10	基本的な生活習慣を確立する指導に取り組むことができたか。	0%	79%	21%	0%
		11	生徒が充実した学校生活をおくるよう指導できたか。	0%	79%	21%	0%
		12	通学の安全を確保する指導を進めることができたか。	16%	47%	32%	5%
		13	部活動や行事に積極的に取り組ませることができたか。	11%	68%	21%	0%
		14	HR活動や生徒会活動の活性化を図ることができたか。	16%	53%	26%	5%
		15	それぞれの立場で生徒理解を深める努力ができたか。	5%	95%	0%	0%
	進路指導	16	組織的な進路指導体制を確立させることができたか。	5%	79%	16%	0%
		17	生徒個々に応じた進路指導を充実することができたか。	5%	74%	21%	0%
		18	三者面談、ガイダンスなどを進路指導の有効な手だてとすることができたか。	5%	84%	11%	0%
		19	3年間を見通した進路指導を計画することができたか。	11%	61%	28%	0%
	教職員の 資質向上	20	授業改善のために研究授業や教科会を適切に実施することができたか。	11%	47%	37%	5%
		21	進路指導力向上のために研修会を開き、情報を共有することができたか。	6%	44%	44%	6%
		22	生徒指導力向上のため、方針の明確化と一貫した指導をすることができたか。	11%	53%	37%	0%
		23	組織としての指導力(進路指導・生徒指導・教科指導)の向上を図ることができたか。	5%	37%	53%	5%
	防災安全	24	校内の諸活動において事故防止の観点を念頭に置いて取り組むことができたか。	11%	63%	26%	0%
		25	防災教育・安全教育を適切に実施することができたか。	5%	68%	26%	0%
教育課程	自ら学び 考える力 の育成	26	生徒が自ら進んで取り組むよう工夫した授業ができたか。	5%	58%	37%	0%
		27	生徒を伸ばす効果のある学校づくりが進められたか。	0%	63%	37%	0%
		28	教育課程の編成は組織的に適切に行われたか。	5%	63%	26%	5%
	基礎基本 の定着	29	生徒の特性に応じた学習課題や学習形態を設定できたか。	5%	63%	32%	0%
		30	言語活動の充実を意識した授業を進めることができたか。	0%	58%	42%	0%
		31	自ら学習する習慣を形成し、その習慣化を図る指導ができたか。	0%	58%	37%	5%
	総合的な学 習の時間	32	総合的な学習の時間は適切に計画され実施されたか。	11%	44%	39%	6%
	特色化	33	学校設定教科・科目は学校の個性や特色を伸ばす役割を果たしたか。	5%	68%	16%	11%
	その他	人権教育 道徳教育	34	人権教育は適切に計画され実施されたか。	21%	68%	5%
35			人間としての在り方生き方の自覚を促し豊かな心や道徳性を持った生徒を育てる取組がされたか。	0%	68%	32%	0%
36			道徳教育を意識した授業を進めることができたか。	11%	53%	32%	5%
教育相談		37	教育相談活動が適切に計画され実施されたか。	5%	89%	0%	5%

# 平成30年度学校評価(学校生活アンケート) 集計表(全校生徒)

《 評価 A:十分(良い) B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分 E:どちらともいえない 》

具 体 的 評 価 内 容		回答欄				
		A	B	C	D	E
<b>1 高校生活全般</b>						
1	本校の教育環境は充実している。	41	81	24	9	9
2	本校の教職員は、教育に熱心である。	43	75	31	7	8
3	学校生活は楽しい。	65	61	14	17	8
4	本校は、地域に根ざした教育活動を行っている。	42	71	29	7	13
<b>2 生徒指導</b>						
5	生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。	38	74	31	17	4
6	本校では、生活全般にわたる指導を行っている。	51	66	26	11	10
7	本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。	41	55	42	15	12
<b>3 進路指導</b>						
8	各学年に応じた進路指導が行われている。	61	69	17	7	10
9	進路情報が適切に提供されている。	57	70	22	6	10
10	進路目標達成に向けた指導を行っている。	55	66	21	8	15
<b>4 行事・特別活動</b>						
11	部・同好会顧問として良く指導している。(指導してくれる。)	54	53	28	4	26
12	部・同好会活動が活発な学校である。	43	65	28	5	24
13	楽しく学校行事に参加できている。	55	59	23	12	14
<b>5 その他</b>						
14	本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。	49	67	29	7	13
15	保護者がかかわる育友会(PTA)行事について知っている。	32	60	34	23	16
16	清掃活動がしっかり行われている。	73	59	22	6	4
17	本校の教職員は、生徒の健康管理に気を配っている。	44	72	26	14	9

※ 本校をより良い学校にするために、意見や提案があれば記入して下さい。  
 ・行事を増やしてほしい。・生徒会にもう少し休みをあげてほしい。・文化祭の時、部活とクラスの出し物を手伝っていると自由時間がない。・特定の部活で休みが少なく、午後だけオフでも遊びに行くのを禁止するのはどうか。・ふぐ鍋の際、調理科の生徒が全て行くと負担になる。分担させて学校全体で学校行事に取り組むべき。・桜山祭の時期を考えてほしい。テスト期間や修学旅行など、複数の行事に追われて負担。・桜山祭の時のレストランでずっと仕事をしていた生徒は自由時間がなくてかわいそうだった。・修学旅行に行かない人が多かたり、プランが楽しくなかったり、学校行事に何かと不満を感じる。・行事で調理科と生徒会ばかりが動いているように思う。もう少し全校で協力することはできないか。・修学旅行で調理科は自由時間が余りなく、研修で終わってしまった。・掃除が多い。・行動と発言が違う先生がおり、生徒を思いやる気持ちが伝わってこない。また、他の先生の悪口を言わないようにしてほしい。・自分のことしか考えない先生や大人げない先生がいる。もっと生徒と仲良くできないのか。

## 平成30年度学校評価(学校生活アンケート) 集計表(全校生徒)

《 評価 A:十分(良い) B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分 E:どちらともいえない 》

具 体 的 評 価 内 容		回答欄				
		A	B	C	D	E
<b>1 高校生活全般</b>						
1	本校の教育環境は充実している。	25%	49%	15%	5%	5%
2	本校の教職員は、教育に熱心である。	26%	46%	19%	4%	5%
3	生徒は明るく楽しい学校生活を送っている。	39%	37%	8%	10%	5%
4	本校は、地域に根ざした教育活動を行っている。	26%	44%	18%	4%	8%
<b>2 生徒指導</b>						
5	生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。	23%	45%	19%	10%	2%
6	生活全般にわたり生徒指導は行き届いている。	31%	40%	16%	7%	6%
7	本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。	25%	33%	25%	9%	7%
<b>3 進路指導</b>						
8	各学年に応じた進路指導が行われている。	37%	42%	10%	4%	6%
9	進路情報が適切に提供されている。	35%	42%	13%	4%	6%
10	進路目標達成に向けた指導を行っている。	33%	40%	13%	5%	9%
<b>4 行事・特別活動</b>						
11	部・同好会顧問として良く指導している。(指導してくれる。)	33%	32%	17%	2%	16%
12	部・同好会活動が活発な学校である。	26%	39%	17%	3%	15%
13	適切な学校行事を実施している。	34%	36%	14%	7%	9%
<b>5 その他</b>						
14	本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。	30%	41%	18%	4%	8%
15	育友会組織は有効に運営されている。	19%	36%	21%	14%	10%
16	清掃活動がしっかり行われている。	45%	36%	13%	4%	2%
17	本校の教職員は、生徒の健康管理に気を配っている。	27%	44%	16%	8%	5%

# 平成30年度学校評価(学校生活アンケート) 集計表( 1年生徒 )

《 評価 A:十分(良い) B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分 E:どちらともいえない 》						
具 体 的 評 価 内 容		回答欄				
		A	B	C	D	E
<b>1 高校生活全般</b>						
1	本校の教育環境は充実している。	17	21	8	1	2
2	本校の教職員は、教育に熱心である。	17	22	8	1	1
3	学校生活は楽しい。	24	16	2	5	2
4	本校は、地域に根ざした教育活動を行っている。	16	21	7	2	3
<b>2 生徒指導</b>						
5	生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。	17	20	6	5	1
6	本校では、生活全般にわたる指導を行っている。	23	15	6	2	3
7	本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。	17	19	9	2	2
<b>3 進路指導</b>						
8	各学年に応じた進路指導が行われている。	25	17	5	1	1
9	進路情報が適切に提供されている。	23	17	8	0	1
10	進路目標達成に向けた指導を行っている。	21	14	9	0	5
<b>4 行事・特別活動</b>						
11	部・同好会顧問として良く指導している。(指導してくれる。)	21	13	8	0	7
12	部・同好会活動が活発な学校である。	20	16	6	0	7
13	楽しく学校行事に参加できている。	24	14	5	1	5
<b>5 その他</b>						
14	本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。	20	19	8	0	2
15	保護者がかかわる育友会(PTA)行事について知っている。	14	15	10	4	6
16	清掃活動がしっかり行われている。	27	13	8	0	1
17	本校の教職員は、生徒の健康管理に気を配っている。	16	25	5	1	2
※ 本校をより良い学校にするために、意見や提案があれば記入して下さい。 行事を増やしてほしい。						

# 平成30年度学校評価(学校生活アンケート) 集計表( 2年生徒 )

《 評価 A:十分(良い) B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分 E:どちらともいえない 》

具 体 的 評 価 内 容		回答欄				
		A	B	C	D	E
<b>1 高校生活全般</b>						
1	本校の教育環境は充実している。	17	32	5	2	5
2	本校の教職員は、教育に熱心である。	18	27	11	2	2
3	学校生活は楽しい。	23	21	4	10	3
4	本校は、地域に根ざした教育活動を行っている。	17	29	5	2	5
<b>2 生徒指導</b>						
5	生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。	12	31	9	6	2
6	本校では、生活全般にわたる指導を行っている。	21	25	7	3	4
7	本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。	15	24	12	4	6
<b>3 進路指導</b>						
8	各学年に応じた進路指導が行われている。	20	29	6	1	4
9	進路情報が適切に提供されている。	18	32	5	2	4
10	進路目標達成に向けた指導を行っている。	19	31	4	3	4
<b>4 行事・特別活動</b>						
11	部・同好会顧問として良く指導している。(指導してくれる。)	19	24	10	1	7
12	部・同好会活動が活発な学校である。	13	30	10	2	6
13	楽しく学校行事に参加できている。	17	26	7	6	3
<b>5 その他</b>						
14	本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。	16	30	4	3	8
15	保護者がかかわる育友会(PTA)行事について知っている。	11	28	6	11	5
16	清掃活動がしっかり行われている。	27	23	5	3	2
17	本校の教職員は、生徒の健康管理に気を配っている。	16	28	7	6	4

※ 本校をより良い学校にするために、意見や提案があれば記入して下さい。  
 ・生徒会にもう少し休みをあげてほしい。・文化祭の時、部活とクラスの出し物を手伝っていると自由時間が無い。・特定の部活で休みが少なく、午後だけオフでも遊びに行くのを禁止するのはどうか。・ふぐ鍋の際、調理科の生徒が全て行くと負担になる。分担させて学校全体で学校行事に取り組むべき。・桜山祭の時期を考えてほしい。テスト期間や修学旅行など、複数の行事に追われて負担。・桜山祭の時のレストランでずっと仕事をしていた生徒は自由時間がなくてかわいそうだった。・修学旅行に行かない人が多かったり、プランが楽しくなかったり、学校行事に何かと不満を感じる。・行事で調理科と生徒会ばかりが動いているように思う。もう少し全校で協力することはできないか。・修学旅行で調理科は自由時間が余りなく、研修で終わってしまった。



# 平成30年度学校評価(学校生活アンケート) 集計表( 3年生徒 )

《 評価 A:十分(良い) B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分 E:どちらともいえない 》

具 体 的 評 価 内 容		回答欄				
		A	B	C	D	E
<b>1 高校生活全般</b>						
1	本校の教育環境は充実している。	7	28	11	6	2
2	本校の教職員は、教育に熱心である。	8	26	12	4	5
3	学校生活は楽しい。	18	24	8	2	3
4	本校は、地域に根ざした教育活動を行っている。	9	21	17	3	5
<b>2 生徒指導</b>						
5	生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。	9	23	16	6	1
6	本校では、生活全般にわたる指導を行っている。	7	26	13	6	3
7	本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。	9	12	21	9	4
<b>3 進路指導</b>						
8	各学年に応じた進路指導が行われている。	16	23	6	5	5
9	進路情報が適切に提供されている。	16	21	9	4	5
10	進路目標達成に向けた指導を行っている。	15	21	8	5	6
<b>4 行事・特別活動</b>						
11	部・同好会顧問として良く指導している。(指導してくれる。)	14	16	10	3	12
12	部・同好会活動が活発な学校である。	10	19	12	3	11
13	楽しく学校行事に参加できている。	14	19	11	5	6
<b>5 その他</b>						
14	本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。	13	18	17	4	3
15	保護者がかかわる育友会(PTA)行事について知っている。	7	17	18	8	5
16	清掃活動がしっかり行われている。	19	23	9	3	1
17	本校の教職員は、生徒の健康管理に気を配っている。	12	19	14	7	3
※ 本校をより良い学校にするために、意見や提案があれば記入して下さい。 ・掃除が多い。・行動と発言が違う先生がおり、生徒を思いやる気持ちが伝わってこない。また、他の先生の悪口を言わないようにしてほしい。・自分のことしか考えない先生や大人げない先生がいる。もっと生徒と仲良くできないのか。						

## 平成30年度学校評価(学校生活アンケート) 集計表( 全保護者 )

《 評価 A:十分(良い) B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分 E:どちらともいえない 》

具 体 的 評 価 内 容		回答欄				
		A	B	C	D	E
<b>1 高校生活全般</b>						
1	本校の教育環境は充実している。	31	80	14	5	14
2	本校の教職員は、教育に熱心である。	27	85	13	6	14
3	下関短期大学付属高等学校に入学させて良かった。	54	57	9	3	21
4	本校は、地域に根ざした教育活動を行っている。	27	83	7	2	24
<b>2 生徒指導</b>						
5	生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。	21	74	28	10	10
6	本校では、生活全般にわたる指導を行っている。	26	86	16	6	11
7	本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。	32	68	16	10	19
<b>3 進路指導</b>						
8	各学年に応じた進路指導が行われている。	35	71	12	9	17
9	学校から進路情報は届いている。	23	64	24	11	21
10	進路目標達成に向けた指導を行っている。	24	74	15	10	20
<b>4 行事・特別活動</b>						
11	部・同好会顧問として良く指導している。(指導してくれている。)	36	52	13	10	31
12	部・同好会活動が活発な学校である。	28	64	14	4	31
13	学校行事は生徒育成に役立っている。	30	71	10	4	28
<b>5 その他</b>						
14	本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。	22	70	23	9	20
15	育友会(PTA)活動は有効にそして活発に行われている。	15	79	10	7	32
16	清掃活動が行き届いた学校である。	40	84	7	5	9
17	本校の教職員は、生徒の健康管理に気を配っている。	30	74	15	10	15

※ 本校をより良い学校にするために、ご意見やご提案があればご記入下さい。

- ・小中学校に比べて学校のことがあまり把握できていないので質問内容の意味がよくわからない。
- ・物の紛失防止のため教室に施錠してほしい。
- ・台風等の休校の連絡をもう少し早くしてほしい
- ・修学旅行について詳細が決定してないまま説明会が開催され、質問してもまだ決まってないという回答では、何のための説明会だったのかよくわからなかった。また、行程の変更に伴い追加料金も発生し、始めから考えていただければよかったと思うような変更もあったり、現地でチケットが使えないトラブルもあったそうなので、旅行会社との打ち合わせを確実にやっておいていただきたかった。
- ・今の一年生のマナーがとても悪く、三年生を見下してとても感じが悪い。
- ・担任からの情報伝達が不確かで、「よくわからん」、「多分」、「言っていない」等の表現はやめるべき。

# 平成30年度学校評価(学校生活アンケート) 集計表( 全保護者 )

《 評価 A:十分(良い) B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分 E:どちらともいえない 》

具 体 的 評 価 内 容		回答欄				
		A	B	C	D	E
<b>1 高校生活全般</b>						
1	本校の教育環境は充実している。	22%	56%	10%	3%	10%
2	本校の教職員は、教育に熱心である。	19%	59%	9%	4%	10%
3	下関短期大学付属高等学校に入学させて良かった。	38%	40%	6%	2%	15%
4	本校は、地域に根ざした教育活動を行っている。	19%	58%	5%	1%	17%
<b>2 生徒指導</b>						
5	生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。	15%	52%	20%	7%	7%
6	生活全般にわたり生徒指導は行き届いている。	18%	59%	11%	4%	8%
7	本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。	22%	47%	11%	7%	13%
<b>3 進路指導</b>						
8	各学年に応じた進路指導が行われている。	24%	49%	8%	6%	12%
9	進路情報が適切に提供されている。	16%	45%	17%	8%	15%
10	進路目標達成に向けた指導を行っている。	17%	52%	10%	7%	14%
<b>4 行事・特別活動</b>						
11	部・同好会顧問として良く指導している。(指導してくれている。)	25%	37%	9%	7%	22%
12	部・同好会活動が活発な学校である。	20%	45%	10%	3%	22%
13	適切な学校行事を実施している。	21%	50%	7%	3%	20%
<b>5 その他</b>						
14	本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。	15%	49%	16%	6%	14%
15	育友会組織は有効に運営されている。	10%	55%	7%	5%	22%
16	清掃活動がしっかり行われている。	28%	58%	5%	3%	6%
17	本校の教職員は、生徒の健康管理に気を配っている。	21%	51%	10%	7%	10%

# 平成30年度学校評価(学校生活アンケート) 集計表( 1年保護者 )

《 評価 A:十分(良い) B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分 E:どちらともいえない 》

具 体 的 評 価 内 容		回答欄				
		A	B	C	D	E
<b>1 高校生活全般</b>						
1	本校の教育環境は充実している。	9	22	4	0	6
2	本校の教職員は、教育に熱心である。	8	26	1	0	7
3	下関短期大学付属高等学校に入学させて良かった。	15	19	0	0	8
4	本校は、地域に根ざした教育活動を行っている。	8	21	2	0	10
<b>2 生徒指導</b>						
5	生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。	9	20	6	2	5
6	本校では、生活全般にわたる指導を行っている。	6	28	3	2	3
7	本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。	9	22	3	0	8
<b>3 進路指導</b>						
8	各学年に応じた進路指導が行われている。	10	22	1	1	8
9	学校から進路情報は届いている。	4	18	8	2	9
10	進路目標達成に向けた指導を行っている。	5	22	2	1	11
<b>4 行事・特別活動</b>						
11	部・同好会顧問として良く指導している。(指導してくれている。)	11	13	2	3	12
12	部・同好会活動が活発な学校である。	9	19	0	1	12
13	学校行事は生徒育成に役立っている。	8	24	0	0	10
<b>5 その他</b>						
14	本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。	8	18	9	2	5
15	育友会(PTA)活動は有効にそして活発に行われている。	3	25	1	1	11
16	清掃活動が行き届いた学校である。	8	30	1	0	3
17	本校の教職員は、生徒の健康管理に気を配っている。	7	23	5	1	5
※ 本校をより良い学校にするために、ご意見やご提案があればご記入下さい。 ・小中学校に比べて学校のことがあまり把握できていないので質問内容の意味がよくわからない。 ・物の紛失防止のため教室に施錠してほしい。 ・台風等の休校の連絡をもう少し早くしてほしい						

# 平成30年度学校評価(学校生活アンケート) 集計表( 2年保護者 )

《 評価 A:十分(良い) B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分 E:どちらともいえない 》

具 体 的 評 価 内 容		回答欄				
		A	B	C	D	E
<b>1 高校生活全般</b>						
1	本校の教育環境は充実している。	15	29	3	1	4
2	本校の教職員は、教育に熱心である。	14	30	5	1	2
3	下関短期大学付属高等学校に入学させて良かった。	21	20	5	1	5
4	本校は、地域に根ざした教育活動を行っている。	11	30	2	1	7
<b>2 生徒指導</b>						
5	生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。	9	23	10	4	4
6	本校では、生活全般にわたる指導を行っている。	12	29	6	1	4
7	本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。	15	22	7	2	6
<b>3 進路指導</b>						
8	各学年に応じた進路指導が行われている。	16	22	6	3	5
9	学校から進路情報は届いている。	10	23	8	5	5
10	進路目標達成に向けた指導を行っている。	12	23	8	4	4
<b>4 行事・特別活動</b>						
11	部・同好会顧問として良く指導している。(指導してくれている。)	13	21	4	2	11
12	部・同好会活動が活発な学校である。	10	26	5	1	9
13	学校行事は生徒育成に役立っている。	14	23	4	1	9
<b>5 その他</b>						
14	本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。	10	26	7	1	8
15	育友会(PTA)活動は有効にそして活発に行われている。	8	27	4	3	9
16	清掃活動が行き届いた学校である。	19	26	2	2	3
17	本校の教職員は、生徒の健康管理に気を配っている。	15	24	6	2	5
<p>※ 本校をより良い学校にするために、ご意見やご提案があればご記入下さい。          ・修学旅行について詳細が決定してないまま説明会が開催され、質問してもまだ決まってないという回答では、何のための説明会だったのかよくわからなかった。また、行程の変更に伴い追加料金も発生し、始めから考えていただければよかったと思うような変更もあったり、現地でチケットが使えないトラブルもあったそうなので、旅行会社との打ち合わせを確実にやっておいていただきたかった。</p>						

# 平成30年度学校評価(学校生活アンケート) 集計表( 3年保護者 )

《 評価 A:十分(良い) B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分 E:どちらともいえない 》

具 体 的 評 価 内 容		回答欄				
		A	B	C	D	E
<b>1 高校生活全般</b>						
1	本校の教育環境は充実している。	7	29	7	4	4
2	本校の教職員は、教育に熱心である。	5	29	7	5	5
3	下関短期大学付属高等学校に入学させて良かった。	18	18	4	2	8
4	本校は、地域に根ざした教育活動を行っている。	8	32	3	1	7
<b>2 生徒指導</b>						
5	生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。	3	31	12	4	1
6	本校では、生活全般にわたる指導を行っている。	8	29	7	3	4
7	本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。	8	24	6	8	5
<b>3 進路指導</b>						
8	各学年に応じた進路指導が行われている。	9	27	5	5	4
9	学校から進路情報は届いている。	9	23	8	4	7
10	進路目標達成に向けた指導を行っている。	7	29	5	5	5
<b>4 行事・特別活動</b>						
11	部・同好会顧問として良く指導している。(指導してくれている。)	12	18	7	5	8
12	部・同好会活動が活発な学校である。	9	19	9	2	10
13	学校行事は生徒育成に役立っている。	8	24	6	3	9
<b>5 その他</b>						
14	本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。	4	26	7	6	7
15	育友会(PTA)活動は有効にそして活発に行われている。	4	27	5	3	12
16	清掃活動が行き届いた学校である。	13	28	4	3	3
17	本校の教職員は、生徒の健康管理に気を配っている。	8	27	4	7	5
<p>※ 本校をより良い学校にするために、ご意見やご提案があればご記入下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今の一年生のマナーがとても悪く、三年生を見下してとても感じが悪い。</li> <li>・担任からの情報伝達が不確かで、「よくわからん」、「多分」、「言っていない」等の表現はやめるべき。</li> </ul>						

## 平成30年度 第1回 授業評価 集計表

### 質問項目

1	説明はていねいで聞き取りやすかった。
2	指示は分かりやすく、板書は見やすかった。
3	授業の進度は適切である。
4	生徒の理解度を確認しながら授業を行っている。
5	先生は熱意を持って教えてくれた。
6	クラス全体で真剣に授業に取り組む雰囲気がある
7	授業内容がよく理解できた。
8	授業に積極的に参加した。
9	授業内容は興味深いものだった。
10	授業を通して新しい知識・技能・考え方が身に付いた。

4 あてはまる    3 だいたいあてはまる    2 あまりあてはまらない    1 あてはまらない

### 全教科合計

#### 《実数》

	4	3	2	1
1	1453	618	84	10
2	1416	641	94	14
3	1447	639	70	9
4	1425	645	86	9
5	1515	581	63	6
6	1327	749	81	8
7	1258	749	123	35
8	1417	655	85	8
9	1280	736	124	25
10	1293	733	108	31

#### 《割合》

	4	3	2	1
1	67.1%	28.5%	3.9%	0.5%
2	65.4%	29.6%	4.3%	0.6%
3	66.8%	29.5%	3.2%	0.4%
4	65.8%	29.8%	4.0%	0.4%
5	70.0%	26.8%	2.9%	0.3%
6	61.3%	34.6%	3.7%	0.4%
7	58.1%	34.6%	5.7%	1.6%
8	65.5%	30.3%	3.9%	0.4%
9	59.1%	34.0%	5.7%	1.2%
10	59.7%	33.9%	5.0%	1.4%

## 平成30年度 第1回 授業評価考察

教科	考察
国語	教科アンケートとして行った、「漢字や語句の意味が理解できたか」という質問に対し、8割近くが「理解できた」または「大体、理解できた」と回答していたことから、教科授業の目的である「言葉の理解」は達成されているように思える。今後は生活の中でそれらを上手く活用できる力を身に付けさせることが課題となるであろう。
地理歴史	地歴の特徴でもあるが、特に歴史系科目はどうしても覚える(暗記する)ということに抵抗がある場合と時系列(流れ)のイメージが湧きにくい生徒がいるため、苦手としている生徒も多いようだ。従って、一つ一つを切り取って繋げていき、生徒の理解に沿って授業を進めていくように工夫していきたいと思う。
公民	1学期のアンケートを考察する限り評価は概ね良好だと言える。単元内容が生徒にとって興味深く、身近なものになっていることがあるからだろう。2学期に入るとまた、内容も変わってくるので、この評価アンケートを維持できるように授業内容のスキルをもっと高めたいと思う。
数学	考査の平均点が少し高すぎたのが反省点である。思考力や判断力を問うような教材や問題を研究する必要があると感じている。数学に対して抵抗感を持つ生徒は多い。できる楽しさは基礎的な問題を解けるようにすることで感じる面もあるが、難しいが深い思考とひらめきで解けたときの喜びで感じることの方が大きいはずである。授業内容や考査の内容を検討していきたい。
理科	学習内容に対する興味関心と学習内容の理解の項目が、他の項目に比べて全学年とも低く、4段階での評価の平均が、共に3.42であった。前年からの課題でもあったが、なかなか有効な対策が見いだせていない。本年度は、生物基礎の全授業でPPのスライドを使用して視覚的に授業を仕組み、書写もできるだけ減らすためにPP対応のプリントも準備しているが、評価には表れていない。今後さらなる工夫を考えていきたい。
保健体育	全ての項目において、4(あてはまる)、3(だいたいあてはまる)の合計の割合が全体の90%超であり、良好といえる。また、昨年度の反省であった教員の授業力に関する9,10の項目が、昨年よりも4(あてはまる)の割合が高くなったので、引き続き生徒が興味関心をもつような授業展開を心掛けたい。
芸術	授業スピードについて行けない生徒やもっとスピードを上げたい生徒、個々の理解度を把握しながら授業を進めていく必要があるようだ。実技が大半を占める芸術科目に於いて生徒自身は苦手な項目であっても一生懸命に取り組もうとする姿勢を持っているので教員側も粘り強く指導をしていく必要がある。
外国語	教科書の難易度をもっと考慮する必要がある。難しいと簡単な差が激しく、もっとバランスの取れた内容を検討していきたい。生徒の理解度にも気を配り、深めていきたい。
情報	教科で設定した『パソコンを使いこなせるようになりたいか』という質問に全員が『なりたい』と回答した。毎回の授業の中で行っているタイピング練習にも生徒は真面目に取り組んでおり、パソコンを使いこなす知識や技術は必須であることを自覚しているように思う。一方、スマートフォンが原因で困ったことがあるという生徒が多く見られ、モラルやマナーの欠如、知識がない故にトラブルに巻き込まれる可能性があることを感じた。身近で現実的な事例をあげて啓発していきたい。
家庭	全体的に教員に対しても、自己評価にしても評価が高い生徒が多かった。調理科の生徒は目標が定まっているので、意識が高くなったように感じられる。全体的にも、生徒の取り組みも良く、意欲を持って取り組んでいるので、教材研究等に力を入れ、意欲を掻き立てられるような授業を展開していきたい。
総合的な学習の時間	今年度は3年3組は日本舞踊、1年3組2年3組の調理科は他教科に置き換えとなり、クラスによって差がある総合になった。実技が減ってしまい、残念であるが代わりにキャリアデザインで補っている。今後の総合の在り方を考えていく必要が感じられる。
キャリアデザインⅠ群	専門的な技術や意欲のある分野での取り組みの為、生徒の評価も高く積極的な取り組みが予想される。
キャリアデザインⅡ群	専門的な技術や意欲のある分野での取り組みの為、生徒の評価も高く積極的な取り組みが予想される。また第一希望ではない生徒においても低い授業評価の項目は少なく、全体的に満足しているようである。
キャリアデザインⅢ群	第一希望ではない生徒においても低い授業評価の項目は少なく、全体的に満足しているようである。
教養	教養は今年度限りでなくなり、ほとんどがキャリアデザインに移行になる。全体的に評価が高く、役目を果たしたように思える。良かった点はキャリアデザインに引き継いでいく必要がある。



## 平成30年度 第2回 授業評価 集計表

### 質問項目

1	説明はていねいで聞き取りやすかった。
2	指示は分かりやすく、板書は見やすかった。
3	授業の進度は適切である。
4	生徒の理解度を確認しながら授業を行っている。
5	先生は熱意を持って教えてくれた。
6	クラス全体で真剣に授業に取り組む雰囲気がある
7	授業内容がよく理解できた。
8	授業に積極的に参加した。
9	授業内容は興味深いものだった。
10	授業を通して新しい知識・技能・考え方が身に付いた。

4 あてはまる    3 だいたいあてはまる    2 あまりあてはまらない    1 あてはまらない

### 全教科合計

#### 《実数》

	4	3	2	1
1	1513	520	56	10
2	1482	519	85	10
3	1521	500	71	7
4	1518	511	67	7
5	1614	453	31	2
6	1379	653	64	7
7	1251	735	106	11
8	1416	611	70	7
9	1322	660	101	16
10	1317	701	77	8

#### 《割合》

	4	3	2	1
1	72.1%	24.8%	2.7%	0.5%
2	70.7%	24.8%	4.1%	0.5%
3	72.5%	23.8%	3.4%	0.3%
4	72.2%	24.3%	3.2%	0.3%
5	76.9%	21.6%	1.5%	0.1%
6	65.6%	31.1%	3.0%	0.3%
7	59.5%	35.0%	5.0%	0.5%
8	67.3%	29.0%	3.3%	0.3%
9	63.0%	31.4%	4.8%	0.8%
10	62.6%	33.3%	3.7%	0.4%

## 平成30年度 第2回 授業評価考察

教科	考察
国語	授業を通じて言葉の持つ力や重要性が少しずつ浸透しつつあるように思える。ただ、生徒の職員室等での発言や書かれた文章を読むと、それを生かした生活を送るまで至っていないことに憂慮を感じる。身に付いた言語能力を実生活で上手く活用できるための方法を模索する努力が、我々、国語教員に求められているように感じる。
地理歴史	教科による特色があるため、一概に言えない部分もあるが、歴史教科である「日本史」「世界史」に関しては歴史の流れを追って説明するだけでは中々ついてこないのに授業の進め方の工夫に力を入れる必要がある。いかに興味を持たせ、新しい知識・発見を身に付けさせるかに焦点を当て、取り組んでいきたい。
公民	現代社会に関して、振り返りをしてみると、やはり、自分の思うような授業が少しずつできてきているように思う。生徒にとって、色んな事柄をテーマにし、考え、自分の意見を持つことに力を入れているため、その結果がアンケートにも反映されているように思う。更にスキルを高め、成長していきたい。
数学	教科アンケートにおいて、7割以上の生徒が数学を必要、または最低限の知識は必要だと考えていることがわかった。しかし、興味関心が高いかというところではない。授業において特に単元における導入部に工夫が必要と感じた。ただ問題を解き、答えを解説する時間になっていないか注意すべきと感じた。なぜ学ぶのか、どのような事象に応用できるか、生徒の身近な事例をあげて授業への興味関心を高めたい。
理科	各学年の評価平均が、1年 3.70、2年 3.68、3年 3.40で、どの学年も授業の評価に対して、自己評価項目の平均が低い値となった。中でも学習内容の理解や興味に関する項目の評価が低かった。2年の生物基礎では、ノート書写の効率を図るため、全時間ワークシートとPPIによる授業を進めていったが、やや単調になってしまったようである。メリハリのある授業となるよう授業の工夫改善をしていきたい。
保健体育	授業全体としては、全ての項目において高評価であり、年々生徒の満足度も増していると考えられる。現在最大で1クラス24名の授業であるが、来年度以降、1クラスの数が増えた時に同等以上の評価を得られるようにするためには、用具等も含め様々な工夫をしていかなければならない。
芸術	概ね満足した結果となった。教員側の熱意は伝わっているが、一部の生徒にとっては授業内容について行けず、理解できていない様子が伝わってきた。今後とも分かり易い授業の工夫や一人一人に寄り添った授業展開が必要になる。
外国語	授業評価としては概ね好評価だが、学力との関連が弱いように感じる。基礎学力の向上、応用力を身に付けさせる為の工夫を授業内で取り組むことが課題である。
家庭	1～5の項目については高評価であった。しかし、6～10の自分に関する項目が少し評価が低かった。自分の知識の理解が不十分であったことや、自分が意欲的に取り組んだということに不十分であったようなので、生徒自身の興味関心を深め、より意欲的に学習に取り組めるように授業を工夫していきたいと考えている。
情報	どの項目も概ね評価は高かった。1年間の実技授業を通して、パソコンでできることの幅が広がったのではないと思う。また、座学ではコンピュータやインターネットの基本的な仕組みや、情報の取り扱い方や問題点について教えてきたが、実際に社会問題となっている事象につながりを持たせることができたかどうかは疑問である。授業だけでなく日頃の生活から学ぶことが多くあることを授業の中で気づかせたい。
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間というのは各クラスによって実施内容や進度が違うにも関わらず、評価は概ね好評であった。各担任試行錯誤しながら授業をしているように感じられる。伝統芸能を学ぶ機会を総合の時間で作れないのは残念だが、うまくキャリアデザインに引き継いでいきたい。来年度から探究の時間に変わるので、より深い学びの時間にしていく必要がある。
キャリアデザインⅠ群	前回と同様良い評価であった。継続して取り組んでいきたい。
キャリアデザインⅡ群	前回と同様良い評価であった。希望の選択でないものに対する意欲が心配であったが、意欲的に取り組んでいた評価になっている。
キャリアデザインⅢ群	前回と同様良い評価であった。感想の中に実習費が高いという声が上がっていた。今年実習で使った費用を参考に考えていく必要があると感じた。
教養	前回と同様良い評価であった。

### 1、自己評価結果のまとめ

	良い評価	厳しい評価	気づき等
教員	<p>1、学校情報の発信、公開を充実させることができたか。</p> <p>2、保護者や中学校等への広報活動の取組を組織化し、教職員の意識を向上させることができたか</p> <p>34、人権教育は適切に計画され実施されたか</p>	<p>7、適切な職場風土が形成されていると感じることができたか</p> <p>8、学校の問題は明確にされ、教師間で共有することができたか</p> <p>23、組織としての指導力(進路指導・生徒指導・教科指導)の向上を図ることができたか</p>	<p>篠田評価委員からご指摘いただいた『学校はいつも「求心力」を持っていないといけない。』これを実行していくためにも、学校評価を活用して、教育活動や学校運営の改善に今以上組織的に取り組んでいき、教職員の共通理解・協力・協働により現状分析を行い、確かな現状認識と、近い将来への見通しを学校内で共有することが重要になると思われる。そのためにも教職員間のコミュニケーション、議論・ディスカッションの重要性を理解して、「チーム下短」として取り組んでいきたい。</p>

### 2、生活アンケート結果のまとめ

	良い評価	厳しい評価	気づき等
生徒	<p>3、生徒は明るく楽しい学校生活を送っている</p> <p>8、各学年に応じた進路指導が行われている</p> <p>16、清掃活動がしっかり行われている</p>	<p>3、生徒は明るく楽しい学校生活を送っている</p> <p>7、本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している</p> <p>15、育友会組織は有効に運営されている</p>	<p>問3の回答が本校生徒の特徴を表しているように感じる。これは目的を持って生活している生徒、目的が無く、ただ登校している生徒(不登校傾向含む)が混在しているからであろう。目的意識の無い生徒のやる気をいかにして持たすかが今後の課題である。生徒を理解し指導しているつもりでも、生徒に通じていなければ意味がない。</p>
保護者	<p>1、本校の教育環境は充実している</p> <p>3、下関短期大学付属高等学校に入学させて良かった</p> <p>16、清掃活動がしっかり行われている</p>	<p>4 行事・特別活動 11・12・13</p> <p>15、育友会組織は有効に運営されている</p>	<p>保護者はおおむね学校運営については満足しているようではあるが、行事・特別活動・育友会活動については、どちらもいえない、との回答がそれぞれ20%を超えており、保護者への情報発信不足であったと思われる。</p>
その他	<p>○いじめアンケート:いじめアンケートを実施したが、いじめに繋がるような事案は発生していない。</p> <p>○体罰アンケート:体罰アンケートを実施したが、体罰は発生していない。</p>		

### 3、授業評価結果のまとめ

	良い評価	厳しい評価	気づき等
一回目	<p>1、説明はていねいで聞き取りやすかった</p> <p>3、授業の進度は適切である</p> <p>5、先生は熱意を持って教えてくれた</p>	<p>7、授業内容がよく理解できた</p> <p>9、授業内容は興味深いものだった</p> <p>10、授業をとおして新しい知識・技能・考え方が身に付いた</p>	<p>毎年同じような授業評価の結果が出ている。1回目より2回目のほうが、「あてはまる・だいたいあてはまる」の評価%が向上しているのは、1回目を受けて教員が授業改善を行ったたまものと思われる。先生は熱意を持って教えてくれたや説明は丁寧で聞き取りやすかったが高評価であるにもかかわらず、授業内容が良く理解できたや授業内容は興味深いものだったの評価が低いのは、教員の一生懸命さは通じているが、生徒にあった工夫された授業がなされていないのではないかと。多様な生徒が混在する本校で、板書の工夫等によって、理解させ伸ばすための授業を考える必要がある。また、教科書を教えるのでなく、教科書で教える工夫等が必要であろう。</p>
二回目	<p>1、説明はていねいで聞き取りやすかった</p> <p>4、生徒の理解度を確認しながら授業を行っている</p> <p>5、先生は熱意を持って教えてくれた。</p>	<p>7、授業内容がよく理解できた。</p> <p>9、授業内容は興味深いものだった。</p>	
その他	<p>篠田評価委員からの提言 ※今すぐ取り組める「学習指導の改善」</p> <p>目指す授業……一人ひとりに存在感を得させ、授業に参加しているという実感を持たすこと</p> <p>①授業の「めあて・指導目標をはっきりさせること ②教師の発言回数を減らすこと ③授業は、生徒の疑問や課題意識から出発すること ④「解らないから質問し、できないからやってみるのだ」という考えを持たすこと ⑤だれもが学習活動に参加できる授業を工夫すること ⑥「学習活動の工夫をしていくこと</p>		

学校関係者評価委員 氏名( 古藤 俊彦 )

評価領域	平成30年度学校関係者評価委員会の意見	評価
高校生活	<p>高校生活全般においては全校生徒、保護者共に、十分から、おおむね十分と、8割近くが評価しており、教育環境、教員の教育の熱心さ、生徒の学校生活を楽しく、はつらつと送っている様子が大きく評価出来る。</p> <p>昨年に続き、その半面、教職員の評価はAがなし、B,Cにかたまっている。これはまだまだ教職員方の潜在的な可能性があることを感じる。教職員の方の成長が更に生徒さんの満足に繋がり、保護者の満足、評価につながることを期待します。</p>	A
教科指導	<p>教科指導にあたっては、自発的スキル 自らが学び、考える力の育成は約6割弱の教職員の方がよく取り組んでいると認識しておられます。また残り4割の教職員の方があまり取り組んでいないを回答しています。</p> <p>自発的スキルの向上のため、やる気を引き出させる授業にしていくために、生徒さんとのラポール(心の架け橋)を築くことが大切と感じます。大きく時代が変化する中、学び方が変わる中、教え方も大きく変化します。エドテック(エデュケーション+テクノロジー)に代表されるように各業界にも大変革が求められています。</p> <p>更に先生方の未来の成長に向けて、潜在的可能性を感じております。</p>	B
生徒指導	<p>教職員の方の、校則を基本に規律性の徹底した対応が、生徒・保護者ともに、8～7割が十分、おおむね十分と評価している。</p> <p>生徒の集計の中で教職員は、生徒を理解し、対応しているが6割を切っているの気になるところである。今、世の中の変化が加速する中、ダイバシティ(多様性)が求められる時代になっている。違いを認め合う文化の構築が大切だと考えます。</p> <p>そのためには教職員の方々のコーチングスキルは大切な人材教育の必須なスキルです。まず、教職員の方が 生徒さんの長所を承認して信頼関係の構築が大切です。河野タカ先生からの礼法を通じての人間教育が行われていることが引き継がれている。</p>	A
進路指導	<p>教職員9～8割、生徒8割前後、保護者7割の順に十分と評価している。学年に応じた段階的な進路指導が行われている、</p> <p>立場によって認識が違うので再度保護者、生徒にリサーチしてはいかがでしょうか？</p> <p>将来のビジョンを聞き出し、何のためにその方向に進みたいか？またその方向に進むためにはどういう進路の選択肢があるかを質問力、アドバイスが求められます。</p> <p>更なる生徒さんが、ビジョンを持てる進路指導を期待しております。</p>	A
特別活動	<p>部・同好会活動など活発で生徒、保護者ともA,Bが7割～6割強と評価があるが例年により評価が下がっている。</p> <p>特別活動が積極的、前向きなところは、チームワーク、協調性を育みコミュニケーション能力を高める、人間関係を学び、コミュニケーション能力を高める大切な場でもある。</p>	A
その他	<p>今期の調理教室の設備の拡充、環境整備に始まり、グアムの海外修学旅行の戦略的施策の計画が実行されました。来期の入学者大幅増と成果の上がる布石の年となりました。教職員の自己評価アンケートの学校全般・教職員の資質の向上・特色化に大きな潜在的可能性を感じております。これは先生方が、成長したいという潜在意識のあらわれであると思います。目まぐるしく変わる外部環境に対応する人材教育に対する姿勢には大きく期待されます。</p> <p>また、調理科においては 地域の方を講師として招き、授業を行われたことは特色ある授業を行われたことはかなり評価に値します。これを足がかりに、次年度も更なる発展と飛躍を楽しみにしております。”</p>	A

評価 十分:A 、 おおむね十分:B 、 やや不十分:C 、 不十分:D

学校関係者評価委員

氏名( 大田 啓子 )

評価領域	平成30年度学校関係者評価委員会の意見	評価
高校生活	今年度も約80%の生徒が、明るく楽しい学校生活を送っている状況であり、充実した高校生活が伺えます。一方、15%の生徒は何らかの不満を抱えているようです。該当する生徒には何が足りないのか、「行きたくなる学校」の要件を念頭に置いて、指導や支援をしていくことが肝要だと思います。少数ではありますが、充実感を得られていない生徒への丁寧な対応によって、一人でも多くの生徒が楽しい学校生活を送ることができるよう願っています。	A
教科指導	授業評価考察からは、先生方が授業改善に前向きに取り組まれている姿を読み取ることができます。各教科の考察からは、「いかに興味を持たせ、新しい知識・発見を身に付けさせるか」、「自分の意見を持たせることに力を入れている」、「単元における導入部に工夫が必要」など、授業改善のために必要なキーワードがたくさん見受けられます。これらは教科の枠を超えて共通のものです。この貴重な考察を是非、教員間で共有し、授業の充実に繋げてほしいです。	B
生徒指導	生徒指導と教科指導は密接な関係がありますが、生徒は日々の授業において、先生方の熱心な教科指導を認めており、生徒と教師との良好な人間関係が築かれています。また評価項目15からは、すべての先生方がそれぞれの立場で生徒理解に尽力されていることが分かり、大変心強く思います。生徒指導は、生徒との信頼関係があってこそ効果が上がります。教師の言動は生徒に大きな影響を与えます。このことを心に留めて指導に当たってほしいと思います。	B
進路指導	今年度は約90%の先生が、三者面談やガイダンス等を通じて進路指導の手ごたえを実感されています。生徒一人ひとりに応じた進路指導が充実したことによって、3年間の集大成である就職、進学に大きな成果が上がっていることを嬉しく思います。一方、自己理解が不十分で、目的意識が希薄な生徒が中途退学をするケースもあるようです。生徒が将来への夢をもてるよう、これからも生き方指導に力を注いでほしいです。	A
特別活動	調理科の学校行事への貢献度は素晴らしく、地域の中の学校として、付属高校の存在価値が一層高まっているように思います。学校生活アンケートからは、約70%の生徒は学校行事に楽しく取り組んでいます。30%の生徒は満足が得られていない状況が伺えます。学校行事に深くかかわっている生徒と、そうでない生徒との二極化が生じているように感じます。生徒は自分を生かせる活動の場があることが喜びであり、活動を通して成長していきます。すべての生徒に出番があるように、更なる工夫を期待しています。	B
その他	調理師養成施設の実現に向けて、校長先生をはじめ教職員の方々が、困難な課題を一つ一つ解決され、今日があることに敬意を表します。調理科の新設や男女共学によって、これから増々学校が活性化し、学校風土も変化していくと思われまます。このような時機だからこそ、これまで以上に教職員が学校や生徒が抱える課題についてしっかりと意見交換し、意思疎通を図って学校運営に参加してほしいと願っています。昨年度同様、職場風土については改善の必要を感じています。生徒のために、「笑顔のある学校づくり」をめざして、先生方の発奮を期待します。	B

評価 十分:A 、 おおむね十分:B 、 やや不十分:C 、 不十分:D